

5. 小売業

売上額の状況

－業況D I・売上D I、共に改善－

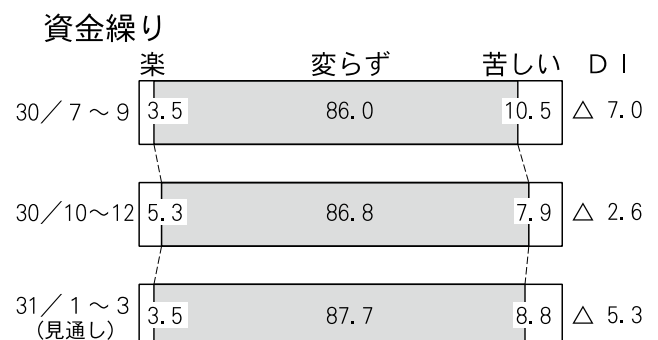
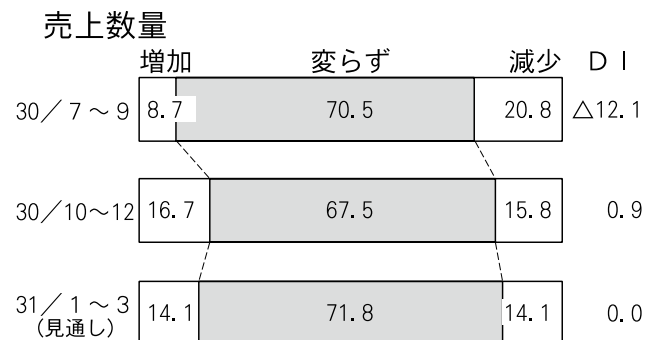
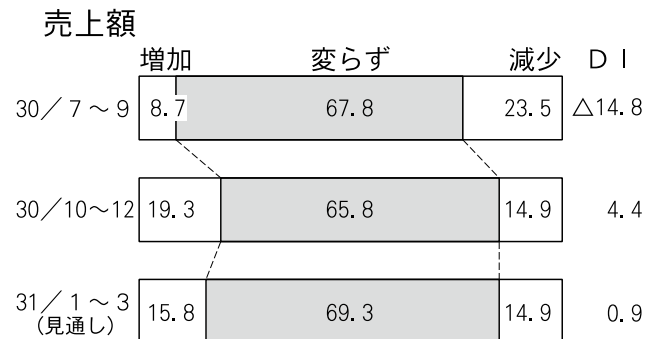
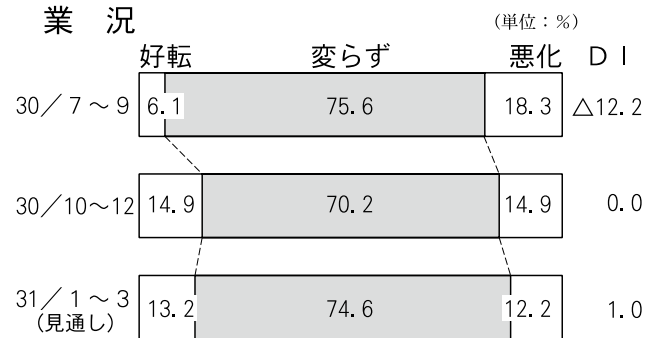
業況D Iは±0と前期の△12.2と比べ12.2ポイント改善した。売上額D Iは+4.4と前期の△14.8と比べ19.2ポイント改善しプラス台となった。

売上額D Iを業種別で見ると、前期と比べ織物・衣類・身の回り品小売業、飲食料品小売業、飲食店小売業、自動車・自転車小売業、家庭用機械・電気機械器具小売業、書籍・文房具小売業の6業種で改善、医薬品・化粧品小売業で横ばい、燃料小売業で後退している。

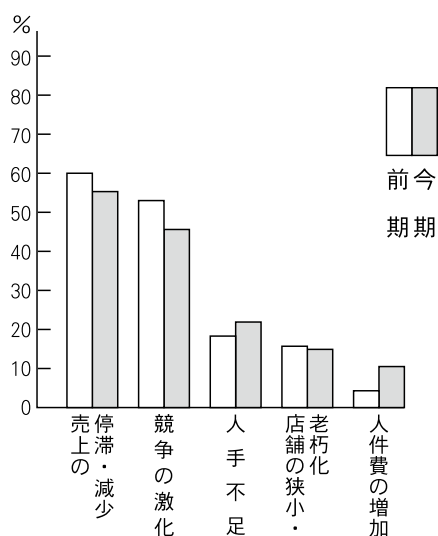
資金繰りD Iは△2.6と前期の△7.0と比べ4.4ポイント改善している。

経営上の問題点では「売上の停滞・減少」55.3%、「競争の激化」45.6%、「人手不足」21.9%、「店舗の狭小・老朽化」14.9%、「人件費の増加」10.5%の順となっている。特に今期は「人手不足」と「人件費の増加」という人材確保に関する問題が前期と比べ増加している。

来期の業況D Iは+1.0と今期と比べ1.0ポイントの改善、売上額D Iは+0.9と今期と比べ3.5ポイント後退すると予測している。



経営上の問題点



収益の状況

— 来期も改善を予測 —

今期の収益D Iは△4.4と前期の△18.3と比べ13.9ポイント改善した。これは前期の見通し△8.7と比べ4.3ポイント上回っている。

来期の収益D Iは△1.8と今期と比べ2.6ポイントの改善を予測している。

設備投資の動向

今期の実施率は5.3%と前期の6.1%と比べ0.8ポイント減少した。

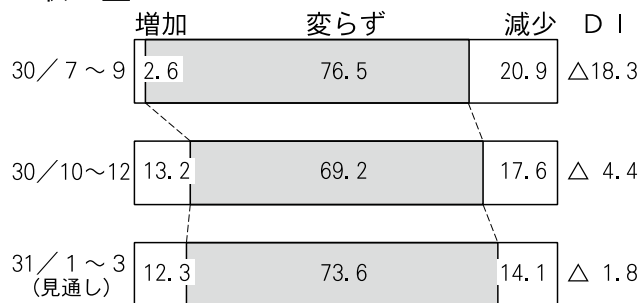
来期の実施予定は2.6%と今期と比べ2.7ポイントの減少を予測している。

業界の新しい動き・課題・見通し等… ご意見

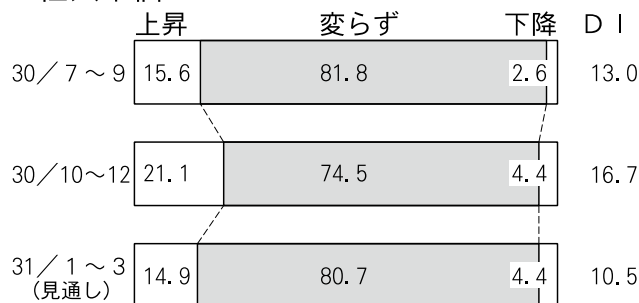
- 大きく好転することはないが、日々の仕事の重要性は増している。
(種苗販売)
- 業界自体に良くなる要素がない。
(喫茶店)

収益

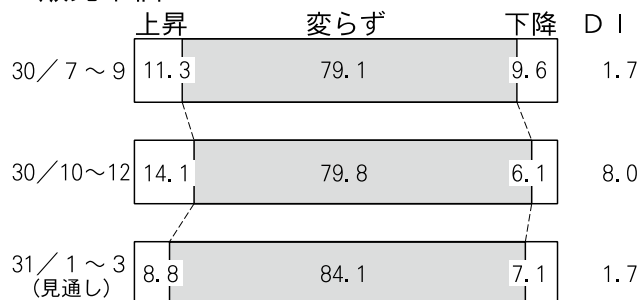
(単位: %)



仕入単価



販売単価



設備投資動向

〔今期の実績〕

30/10~12月期実績

実施の有・無	内 訳	比率(%)
○実施した 5.3%	事業用土地	16.7
	店舗・事務所	50.0
	倉庫	0.0
	その他	50.0
○実施しない 94.7%		

(注) 比率は複数回答です。

〔来期の見通し〕

31/1~3月期予想

実施の有・無	内 訳	比率(%)
○計画あり 2.6%	事業用土地	33.3
	店舗・事務所	33.3
	倉庫	0.0
	その他	66.7
○計画なし 97.4%		

(注) 比率は複数回答です。